

あゆみ

Vol.144

令和7(2025)年
8月1日発行

主な内容

- ★一般質問（6月議会）…………… 2 頁
- ★委員会報告（6月議会）…………… 7 頁
- ★審議結果（6月議会）…………… 8 頁
- ★議会の日程（9月議会）…………… 8 頁

田尻町議会 YouTube チャンネル

- ・議会の様子を視聴することができます。
- ・音声の内容は公式記録ではありません。



6月議会 一般質問

- 原 明美 議員
 1. 農業・漁業支援策について
 2. 全世帯に米を
 3. 災害関連死をゼロにするために何が必要か
- 中野 静男 議員
 1. 木造不良空き家等除去事業補助について
 2. 家計負担軽減策について
 3. 住民の防災意識の向上と発災時の避難行動等の再徹底について
- 今井 猛史 議員
 1. 田尻町で活動されている各種団体について
 2. 公民館図書室について
- 山口明日香 議員
 1. たじりっちプレミアム振興券事業について
 2. 介護従事者支援事業について
- 吉開 育子 議員
 1. 公営合葬墓を設置するのか明確にすべき
 2. 事業者や農業者への原油価格高騰対策支援金の実施を求める
 3. 物価高対策にお米支給の対象拡大と水道基本料金の無料化を求める
- 小川 雄司 議員
 1. 3月24日の田尻町一貫教育審議会の答申について
 - ①「是」とした3点について
 - ②「課題検討の経緯」について
 - ③一体化についての留意点について
 2. 田尻町のこどもの人数の将来推計について
 3. (仮称) 田尻町総合文化センター建設問題の決着を
- 冬野雄一郎 議員
 1. 災害に対する関西国際センターとの協力体制について
 2. 地区会の改革について
 3. 今後のタウンプロモーションについて
- 永井 朋一 議員
 1. 田尻を取り巻く地場産業の状況は
 2. 駅上防災・文化センターの建設費の認識について
- 坂口 実 議員
 1. (仮称) 田尻町総合文化センター建設の栗山町長の初期動機は

※一般質問の様子は町のホームページ上で閲覧できます。(You Tube による動画配信です)
 ・閲覧方法・田尻町のホームページ
www.town.tajiri.osaka.jp/ ⇒ 町議会 ⇒ インターネット配信

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。

※[答]の中で、『安まち局課長』は安全安心まちづくり推進局課長兼局長、『文化・教育PT理事』は文化・教育施設建設プロジェクトチーム理事の略です。



原 明美 議員

問 全世帯に米の配布を

答 今しばらく状況を見定めたい

問 今は米が中々手に入らない。売っていても高く買うのをためらうという声を聞く。田尻町として何か支援が必要ではないか。

答 **産業振興課長** 本町では東洋ライスと連携し、子育て世帯への米の配布を行っている。政府が備蓄米を5キロ当たり2,000円程度で販売し、状況が変わりつつある。今後急速に改善されることも考えられることから、状況を見定めたい。

問 災害時に向けて米を備蓄しているのか。

答 **総務部長** 米自体備蓄はしていない。アルファ化米という形で、一定必要数備蓄倉庫に配置している。

問 災害関連死をゼロにするのに何が必要か

答 避難所生活でのストレスの軽減が必要

問 安心できるトイレ、温かい食事、安心して眠れるベッド(TKB)の必要性について、町の認識は。

答 **安まち局課長** トイレ、キッチン、ベッドについては備蓄で備えているが、今後は品質を上げていきたいと考えている。トイレは水洗、キッチンは温かい食事を100人分同時に調理できるガス器具を今年度中に調達したい。ベッドは段ボールベッド以外に、プライバシーの確保できるテントのような間仕切りも備蓄している。

問 町民の皆さんの命をしっかりと守っていくことをもっとアピールし、なぜ駅上に防災・文化センターが必要なのかアピールも必要ではないのか。

答 **副町長** これからは防災機能がしっかりと整った施設が必要である。ストレスを解消できる施設の重要性を伝えていきたいと考えている。それが防災・文化センターである。



中野 静男 議員

問 空き家等対策特別措置法強化後の対応は

答 田尻町空き家対策計画に準じて進める

問 現時点での空き家の数、事業補助の件数と評価、個別課題先はあるか。措置法強化後の状況は。

答 都市みどり課長 前回実施で74戸（内特定空き家3戸）、事業補助対応は実施から4年間で15件。補助金利用で対応を考える人が増えたと思う。個別課題先は1件ある。所有者に段階的手順を踏んで理解を仰ぎ、安全安心の為に最終は行政判断していく。



問 家計負担軽減策の追加の考えはあるか

答 現在の支援策に加えて、必要な局面において検討していく

問 実質賃金が上がっていない。本年も多くの飲食料品・生活用品の値上げが見込まれている。社会情勢をどう考えるか。他自治体は水道代基本料無料化など行っているが、家計負担軽減策の時限的追加実施は可能か。

答 事業部長 家計負担軽減策としての水道代基本料無料化については今後も情報収集していく。

答 総務課長 電気ガス、飲食料品、生活用品始め多くの品目において、特に米の高騰問題は実感している。本町は国や府との役割分担の中で、住民に身近な自治体として59の支援策を行っている。引き続き町の役割に基づき、必要な局面において支援策を検討し、住民の方々を支えていきたいと考える。



今井 猛史 議員

問 各種団体の活動状況の把握は

答 所管する担当課が把握している

問 各種団体への補助金は、平成18年度より「運営費補助」から「事業費補助」へ転換されたが、問題なく活動されているか。

答 総務課長 団体の皆様にも十分ご理解いただいた上で補助事業に取り組み、問題なく活動されていると認識している。

問 補助金を受けていない団体について、町はどのように考えているのか。

答 生涯学習課長 補助金支援も含めた仕組みづくりを、団体と協議を図りながら検討していきたいと考えている。

問 本の選書はどのように行なわれているのか

答 司書が要望を基に偏りがないよう選書している

問 他市町村から図書を借りることができるリクエスト予約について、周知が低いように思うが、町はどのように考えているのか。

答 生涯学習課長 リクエスト予約については、町広報と公民館図書室専用HPを開設し、町民への周知に努めている。

問 公民館以外の場所に返却ポストを設置してはどうか。

答 生涯学習課長 検討課題として捉えるが、まずは図書室の利用拡大を図っていききたいと考えている。



山口 明日香 議員

問 プレミアム振興券事業の今後は

答 町一体となる取り組みなので継続したい

問 プレミアム振興券事業の経緯は。

答 **産業振興課長** 令和2年度のコロナ禍では、並んで購入という事を避ける為に振興券を配布。令和5年度は70周年記念で、最大140%のプレミアム率で販売。昨年度は物価高の為、1人3セットまで購入可能とした。今年度は、1人1セット、65歳以上の方に追加で1セット、18歳以下のお子様にお米の定期便か振興券3セット購入かを選べるようにした。今後も生活と商店の下支えをしたい。

問 町内店舗の参入状況と取り組みは。

答 **産業振興課長** 参加店舗は、令和2年度開始時は80店舗、今年度は88店舗に増加。未参加店舗は、新規客を求めている、または資金繰り等の理由で見送っているとの事。アンケート等で町内店舗の要望を把握し、使用店舗に偏りがでないような取り組みも検討する。



吉開 育子 議員

問 公営合葬墓を設置する 考えがあるのか

答 総合的に判断する時間が必要

問 3月議会で公営合葬墓設置の請願が採択された。それについての町長の見解は「総合的に判断する必要があり、検討に時間を要する事案であると考えている。」と、議員に報告している。公営合葬墓を設置する考えがあるのかないのか、はっきり答えるべきでは。

答 **住民課長** 本町の土地状況を踏まえ、今後さらに変わりゆく供養方法や民間事業者の土地状況など見定め、総合的に判断する必要があり、検討に時間を要する事案であると考えている。

問 田尻町としての介護従事者 支援事業は

答 田尻町としての支援を考えたい

問 少子高齢化により、介護人材へのニーズが高まる。現場では、介護従事者自身の高齢化、人手不足が更なる離職につながり、人材定着の妨げになっている。介護従事者支援に向けた独自の施策を検討し、人材の確保に寄与する取り組みを展開してはどうか。

答 **高齢障害支援課長** 安心して介護を受ける環境を整える為にも、人材の確保は重要である。まずは町内の各介護事業者と課題を共有し、効果的な人材確保について共に検討する中で、町としての支援を考えていきたい。

問 他市では、介護従事者に地域ポイントの付与で支援を行っている。田尻町でも何らかの支援が必要ではないか。

答 **副町長** どのような事を望んでいるのか実態調査ができていないので、まずは調査する。その後、ポイント付与といった給付も一つの選択肢に入れながら、何らかの支援を検討するという事を約束する。

問 物価高対策に水道基本料金 無料化を求める

答 情報収集して検討していくものと認識

問 東京都や、大阪府内では松原市、大東市、枚方市、泉佐野市、泉南市が物価高対策と猛暑が予想される夏に、光熱水費の負担を軽減し自宅のエアコン使用を促す熱中症予防を目的とした、水道基本料金の無料化または半額免除を決めている。田尻町も、新型コロナウイルス感染症拡大時に独自支援策で、16カ月分の水道の基本料金を無料にした実績を生かして、水道基本料金の無料化を求める。

答 **土木下水道課長** 物価状況を踏まえつつ、情報収集して検討していくものと認識している。



小川 雄司 議員

問 小中学校とこども園の一体化計画について意向調査の実施を

答 ただちに意向調査の実施にはならない

問 こども園と小中学校を一体化することの是非について、一貫教育審議会は3月24日に是とする答申を出した。全保護者や全教職員、児童生徒の意識調査が行われないまま諮問され、審議会は是の答申を出したという経過である。全ての保護者、教職員及び児童生徒や住民に意向調査を行うべきではないか。

答 **一貫教育推進課長** 教育環境や地域の将来を見据えた、中長期的な視点から行われたものであり、それが直ちに個々の意向調査の実施につながるものではないと考えている。

問 将来も各学年3クラス程度で変わらないか

答 変わりはない

問 田尻町の子ども数の将来推計について、先日行われた「町長と話そうたじり懇談会」で、教育長は将来の児童生徒数の減少について述べ、こども園と小中学校の一体化施設の建設に理解を求める発言をされた。令和3年第1回保幼小中一貫教育検討委員会での議論の中で、2040年までの将来人口が示され「急激な減少はおこらず、各学年3クラス程度で推移していくものと考えている」と答えている。現在もこの見解に変わりはないか。

答 **一貫教育推進課長** 子ども数の人数は緩やかに減少するものと見込まれている。しかし、学校の学級編成基準として小学校、中学校とも1クラスの上限が35人へ引き下げていく方針であることから、各学年のクラス数としては、当面3クラス程度で推移していくものと考えている。



冬野 雄一郎 議員

問 災害時の関西国際センターとの協力体制は

答 包括連携協定を締結し協力体制の構築を図る

問 町と関西国際センターが協力して、災害時に町内の外国籍住民をサポートする体制を、センターの上部団体である外務省等とも協議して確立できないのか。

答 **安まち局課長等** 国までの話ではなく、災害対策や子ども達の国際理解教育等、様々な面でお互いにメリットが出るように、関西国際センターと包括的な連携を図るべく協議を進め、良い関係を作っていきたい。

問 地区会改革の具体的な施策は

答 組織改革、補助金等での支援を検討

問 本年度の施政方針で、地区会組織体制の再編、見直し等、抜本的な改革を推進するとあるが、具体的にどのような対策を考えているのか。

答 **安まち局課長** 地域の防災意識の向上を図るため、現状の輪番での班長制の見直し等、地区会組織の改革を推進していく。

問 秋祭り存続のために支援を検討することだが、具体的にどのような支援を考えているのか。

答 **安まち局課長** 秋祭りなどのコミュニティの活性化、文化伝統の継承のために、補助金等での支援を検討したいと考えている。



永井 朋一 議員

問 田尻町を取り巻く地場産業の状況は

答 農漁業に新展開、支援強化を考えている

問 田尻漁協が他漁協と合併協議を進めている件について、町は今後どのように対応していくのか。

答 産業振興課長 現在、田尻漁協は存続のため、泉大津・樽井・小島の3漁協と合併協議会を設立し、1年後を目標に、条件整理を行っている。町としても協議会に参加し、合併後も田尻の漁業者が魅力ある資源を活用できるよう支援していく。

問 タマネギ「吉見早生」の販路拡大のため、現在の「発祥の地協議会」を法人化し、生産出荷組合として地域商社化することを町として検討すべきではないか。

答 産業振興課長 まずは農林水産省の「地理的表示（GI）制度」への認証をめざし、ブランド力と生産体制の強化を進めていきたい。

問 駅上防災・文化センターの建設費の認識は

答 公民館の建て替え案と比較し同額と説明したつもり

問 先の町長と話そうたじり懇談会で配布された資料について「公民館の改修または建設費と駅上防災・文化センター建設費はほぼ同額」との記載があったが、実際には、公民館の改修案は14億3,000万円であり、駅上防災・文化センターの29億円と同額といえるのは「建て替え案」のみである。「改修費＝29億円」と誤解した町民から問合せもあり、町政を周知する公的な場で配布する資料として、適切な表現ではなかったのではないか。

答 文化・教育PT理事 実際には“建て替え費用”を指す意図で記載したので誤解を招く表現になった可能性はある。表現に注意は必要だが、誤った広報とは認識していないので、訂正の広報はしない。

答 副町長 私が草稿した文章であり、わかりやすく簡潔に表現する意図で記載した。上手にできたと思っており、間違いとは認識していない。



坂口 実 議員

問 (仮称)田尻町総合文化センター建設の町長の初期動機は

答 令和3年の公民館施設や設備の老朽化による

問 (仮称) 田尻町総合文化センターの建設に関して、建設計画を立案したより、はるか過去に遡り、栗山町長の初期動機をお聴かせください。いつ頃、どのようなニーズ、要望人数など、明確な栗山町長の答弁を求める。

答 文化・教育PT理事 令和3年、公民館は社会教育活動を推進する拠点として38年間にわたり、中心的な役割を果たしてきたが、施設や設備も老朽化しており、大規模改修又は施設更新を検討する必要があった。第5次総合計画において、住民一人一人が生涯を通じて主体的に学び、充実した人生を送ると共に、生涯学習の成果を活かして地域に還元していけるよう学びあえる環境づくりに取り組むこととしており、施設及び機能の整備、充実を図っていく必要があるとしていたことである。

6月議会 委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 小 川 雄 司

審査結果、並びに経過報告 (6月9日開催)

◎田尻町の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する規約の変更に関する協議の件 【全会一致で可決】

問 緑地保全地域とは、どのような地域なのか。

答 緑地保全地域制度と言うものがあり、里地・里山など都市近郊の比較的大規模な緑地において、比較的緩やかな行為の制限によって一定の土地の利用を緩和するような地域である。例えば大阪府で言うと、葛城山系や生駒金剛山系などがある。

問 田尻町では、こういう地域はないということか。

答 現在のところはない。

◎令和7年度田尻町一般会計補正予算(第2号)の件 (2,620万2千円の増額) 【全会一致で可決】

問 消防組合負担金に係るポンプ車の購入について、何台で、どこに配備されるのか。

答 令和5年度に契約締結したポンプ車の納車が令和7年3月31日までだったが、令和6年能登半島地震により自動車関連の工場が被災し、納車が期日に間に合わなくなったため、令和7年度に新たに随意契約するものである。このポンプ車は、阪南市の消防署に配備する。

文教厚生常任委員会

委員長 坂 口 実

審査結果、並びに経過報告 (6月10日開催)

◎令和7年度田尻町一般会計補正予算(第2号)の件 (2,620万2千円の増額) 【賛成3、反対1で可決】

問 教育施設整備における検討事項整理業務委託料550万円の根拠は。また、業者は入札で決めるのか。

答 金額の根拠は、仕様書(案)に基づき積算したものである。業者の選定にあたっては、これまでの経過や町の検討課題をよく知っているかなども加味

した形で、予算確定後に決定したい。

問 課題は、敷地の条件や一体化に伴い配置が変わると思うが、整理業務とはどういうことか。

答 まずはハード面、施設面について検討していく。審議会では、いろいろな形で留意点を出されている点も加味して、子どもたちにとって、どういった形にするのがより良い教育環境になるのか、案を作成して、町としてどういう方向で今後進めていくのかを決めるための整理業務になっている。

問 一体化を進めるための委託料なので、方針が決まり次第と言っているが、既に答申が出てその方向に進んでいる。一般質問では、静寂が優先ではないとのことだったが、問題ではないか。

答 現時点で、こども園・小学校・中学校を一体化すると決定しているわけではない。今回の整理業務において、施設の配置や動線、子育て支援センター移転に伴い空いたスペースの利活用などを含めて検討業務を行い、町の方針を決めたいと思う。町の方針がある程度見えてきたら、説明会や意向の把握を行う。

問 この結果次第では、一体化しないとの予想もあるのか。

答 まず0歳から15歳まで一貫教育を行っていくという理念は、町としては進めていく。ソフト面は、カリキュラム等、教職員にも協力を得ながら進めていく。ハード面は、審議会答申の留意点等、課題を今回整理をし、最終的に町としての方向性を決めていきたい。

問 老人保護措置費だが、1人に対して出された金額か。また、料金の内訳は。

答 1人分の料金である。事務費が月9万7,102円の12ヶ月分、生活費が月5万7,114円の12ヶ月分、高齢者ということで、入院費用が約27万7,000円である。

問 電算委託料で、定額減税対象者を抽出するためのシステム改修との説明があったが、内容は。

答 令和6年度中に扶養親族が増加された方や、令和5年度に比べて収入減少により推定所得金額が減少した方が対象となる。

反対討論 こども園と小中学校の一体化を進めるための委託料があり、容認できない。他の予算は賛成であるが、この委託料が入っているので賛成できない。

意見が分かれた議案名	審議結果	坂口 実	永井 朋一	吉開 育子	小川 雄司	原 明美	山口 明日香	冬野 雄一郎	今井 猛史	金田 裕治	中野 静男
令和7年度田尻町一般会計補正予算（第2号）の件	可 決	○	○	×	×	○	○	○	○	議	○
令和7年度田尻町一般会計補正予算（第3号）の件	可 決	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○

意見が分かれた議案についての討論内容

令和7年度田尻町一般会計補正予算（第2号）の件

反対討論

- ・教育施設整備における検討事項整理業務委託料について、こども園と小中学校の一体化を進めるための委託料であり認められないので、反対する。（吉開）
- ・こども園と小中学校を一体化する明確な根拠がない。この案を撤回していただきたい。（小川）

賛成討論

- ・一体化も含めて、これから検討していく予算である。反対すべきものではないと思うので、賛成する。（原）
- ・検討にあたっては、18歳以下の子ども意見も聞くようにしていただきたい。（坂口）

令和7年度田尻町一般会計補正予算（第3号）の件

反対討論

- ・辞職した町長に、期末手当（6月）が支給される。退職手当の支給は止めるべきと思うので、反対する。（坂口）

賛成討論

- ・功績を失わせるほどの重大な背信行為が認められないので、退職手当を規定通り支給することに問題はないと考える。（小川）

令和7年 9月議会の日程（傍聴可能なもの）

- 4 日(木) 本会議（開会日）
- 5 日(金) 本会議（第2日）
※4日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催
- 8 日(月) 総務建設常任委員会
- 9 日(火) 文教厚生常任委員会
- 11日(木) 決算特別委員会
- 12日(金) 決算特別委員会（第2日）
※11日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催
- 16日(火) 委員会予備日
※8日(月)～12日(金)に審議が終了しなかった場合のみ開催
- 26日(金) 本会議（閉会日）

上記日程は、現時点での予定です。いずれも午前10時から本庁舎3階議場にて開催します。ぜひ傍聴にお越しください。

お知らせ

議員の自動失職について

金田裕治議長が田尻町長選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により、令和7年7月15日付けで町議会議員の職は自動失職となりました。

（議長は、暫くの間不在となります。）

編集後記

いつも田尻町議会だより「あゆみ」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。これから約2年間、この新しいメンバーで編集を担当させていただきます。より一層の紙面づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議会だより広報委員会

委員長 原 明美
副委員長 吉開 育子
委員 永井 朋一
今井 猛史
中野 静男

